

| |
|---|
| <p>● 団体名</p> <p style="text-align: center;">子どものための吟と舞教室 代表者 原田健明 記載者 河田千春</p> |
| <p>● 所在地(市区町村名のみ)</p> <p>倉敷市</p> |
| <p>● 活動目的</p> <p>保育園児、幼稚園児、小・中学生に吟剣詩舞を鑑賞・体験してもらい、伝統文化を普及する</p> <p>団体の紹介</p> <p>平成28年に創立後、年間およそ10公演、小中学校を中心に訪問を重ねてきた。活動の特徴は、①ホールに集客して公演を行うのではなく、私たちの方が学校等を訪問し、出前公演をする、②鑑賞と体験、どちらも公演の中心プログラムとしている、ことである。初めての詩吟と剣詩舞に触れての、先生方と子どもたちの瑞々しい反応に揺り動かされて、今日も学校訪問を続けている。</p> |
| <p>● 助成を受けての活動内容</p> <p>これまで年間およそ10公演に取り組んできたが、30年度は12公演となる。この内、学校関係は5公演で、要請が多かった高齢者施設でも7公演行った。学校公演では、当初活動があまり知られていない時は、15分程度の朝礼時間に合わせた公演が多かったが、デモDVD等で普及・説明する中で、ほとんどの学校が1校時以上を使っての公演要請に変わってきた。鑑賞するだけでなく体験させてみたい、という興味を持たれた結果だと思ふ。公演実施するために、広報資料作り(DVD製作、リーフレット活用)と学校を訪問しての説明を11回行った。高齢者施設からの公演要請は想定外ではあったが大変喜ばれた。要請があれば今後も続けていきたい。</p> |
| <p>● 助成を受けての成果</p> <p>今年の活動目標であった、①公演内容の充実と向上②体験教材の充実、のため、年間2回の研修と毎回公演前のリハーサルを重ねてきた。研修では吟詠講師を呼んでの研修(7月)と、剣詩舞講師を呼んでの研修(10月)を行い、技術向上を図ることができた。体験教材では、刀が15振りしかなかったことで、今まで子どもたちに十分に体験してもらうことができなかったが、この度追加購入することができた。剣舞と詩舞では、圧倒的に剣舞体験希望者が多いので、大変喜んでもらうことができた。</p> |
| <p>● 今後の活動の課題点</p> <p>「鑑賞と共に体験」という、公演の特徴を理解していただき、認知度が上がってきたのは喜ばしいが、1校時以上を空けるとなると学校としては計画に入れるのが難しく、受け入れ先を探すのに苦労した。学校の計画に入れやすいように、2年以上前から働きかけをするなど、工夫したい。リピーターの為にも、公演内容をさらに充実させていきたい。</p> |
| <p>● 問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)</p> <p>河田千春、携帯090-8993-7797、home086-522-1777、fax086-522-5300、http://www.tamatele.ne.jp/~chiharu/、facebook(c hiharu kawata)</p> |